



## 市民茶会 (加茂山公園 池の端での野点)

・地域交流センター1階に  
「にいつフードセンター加茂五番町店」が  
オープンしました。

主な内容

- 地域交流センターに  
食料品スーパーがオープン…………… 23
- 第40回 雪椿まつり…………… 47
- 功績をたたえて 春の叙勲…………… 8
- 第3回 加茂桐たんす見本市…………… 9
- 市史編さん委員紹介・歯の健康…………… 10
- 加茂の風土記…………… 12

# 地域交流センター1階に「にいつフードセンター」がオープン



大勢が集まった開店テープカット

五月十一日午前十時に、五番町の地域交流センター一階に「にいつフードセンター加茂五番町店」がオープンしました。

市には、平成十四年九月に「まるよし五番町店」が閉店して以来、多くの市民の皆様から同所に食料品スーパーの再開を望む声が寄せられていました。

そこで市が旧まるよし五番町店の土地と建物を買取り、地域交流センターとして改装し、その一階部分に「にいつフードセンター（株式会社カワマツ）」から店舗開店をしていただけることになりました。

この施設は、国の「まちづくり交付金事業」の一つとして、国が経費の四三％を負担し、加茂市が五七％を負担して整備したものです。

さらに、この「まちづくり交付金事業」として、七月に開設される「中央コミュニティセンター」と駐車場にも使える多目的広場、さらに根古屋中央線の道路と二つの防火水槽も合わせて国費を大量に導入して整備されます。

オープン当日は、小雨の降る中、大勢の市民の皆様が集まりました。オープニングセレモニーでは、小池清彦市長が「まちづくり交付金事業は、ここを含め中央コミュニ



テイセンター、さらに根古屋中央線の道路の整備まで続きます。食料品スーパーでは、にいつフードセンターから出店していただき感謝しています。これからも地元市民の皆様だけでなく多くの皆様のお役に立つことと期待しています」と、あいさつしました。

続いて関龍雄市議会議長が「この店は地域の人が利用するだけでなく、大きく育っていくことと思います」と話されました。

にいつフードセンターの株式会社カワマツ代表取締役社長の川崎貴樹さんが「お客様である市民の皆様から『ここに出店してほしい』という声で開店できたことはとてもうれしいです。この地域を大切に、まちづくりの一端を担っていきけるようにしていきます」と新規開店のあいさつをされました。

テープカットと同時の開店では、瞬く間に準備した店内用カゴが無くなり、お昼近くまで店内への入場制限をするほどの盛況となりました。

この「にいつフードセンター加茂五番町店」は午前十時から午後七時まで、定休日は水曜日ですが四・九の定期市などのときには開店することになっています。

# 第40回 雪椿まつり



左から ミス雪椿の藤田琴美さん、ミス雪椿クイーンの子田彩加さん、ミス雪椿の栗山まどかさん

週末ごとに雨が続き、今年の雪椿まつり大園遊会も市民体育館での開催となりました。後半は晴天の中、ユキツバキとサクラ、芽吹いた緑に囲まれた加茂山公園にはにぎやかな声があがりました。

四月二日から始まった雪椿まつりは、今年で四十回目を迎えました。九日にトレジャーハンティング、十六日に大園遊会、雪椿マラソン、二十三日に雪椿杯争奪バレーボール大会、二十九日に市民茶会、三十日に献花祭の各行事が開催されました。

「9日、トレジャーハンティング」加茂山公園を会場に加茂青年会議所など六団体によるアトラクション型ゲームがありました。スタートは雨でしたが、カモレンジャーが活躍するところには雨も上がり、子どもたちはゲームで勝ち取ったカードを手にカモレンジャーを応援していました。

「16日、大園遊会」前日から雨が続き、市民体育館での開催となりました。市民の皆様をはじめ、市外からおおぜいの方から加茂山公園においでいただきました。

ミス雪椿公開審査で、ミス雪椿



歓迎大島で小池市長と藤井町長



ミス雪椿公開審査



服部浩子さんのショー



平 慎三 新潟県治山課長



菊田真紀子衆議院議員

クイーンに市内の山田彩加さん、ミス雪椿に三条市の栗山まどかさん、市内から出場の藤田琴美さんが選ばれました。この三名の方からは来年の雪椿まつりまで加茂市の観光PRやセレモニーで活躍していただきます。

アトラクションの歌謡ショーは大島町の親善大使を務める服部浩子さんをゲストに歌とお話して会場が華やぎました。服部さんのお話では、大島町の椿まつりで加茂市の皆さんのお話から「行ってみたいな」と思っていたところ「今日、この大園遊会にお招きいただきました」と話され、歌では大島町・三原山をモチーフにした「御神火月夜」などを歌っていただきました。

午後三時からはJR加茂駅前からのパレードで、このころには朝からの雨も上がり、空も明るくなっていました。ミス雪椿に選ばれたばかりの山田さん、栗山さん、藤田さんとミス大島の住吉さんが沿道からの声援に大きく手を振っていました。パレードには県警音楽隊とカラーガーズを先頭に交通安全協会、交通安全母の会、レバ

大島町との交歓会には、今年も藤井静男・大島町長がおいでになり「今年は、大島町親善大使の服部浩子さんもおいでになり、加茂市とのつながりも、いっそう深く大きなものになりました」とあいさつされました。

「市中パレード」



ミス雪椿決定の瞬間



大島町婦人会の皆さん



勇壮な御神火太鼓

トリー豊富な一栄楽団、大島町の皆さん、自衛隊音楽隊、少年消防クラブ、本量寺保育園の幼年消防クラブの子どもたちが参加しました。

「雪椿マラソン」

パレードの始まる三十分前にはJR加茂駅前から雪椿マラソンがスタート。三キロ、五キロ、十キロの三コースに百九十人が参加しました。沿道からの声援に

十キロコースの選手では三十四分ほどでゴールしていました。

「24日、雪椿杯バレーボール大会」

県内各地にある「ママさんバレーボール」のチームが参加するこの大会に、今回は十六チームが出場しました。強豪として知られる「新潟ひかりクラブ」が連覇を達成し、市内の「つかさクラブ」が準優勝という結果になりました。

「29日、市民茶会」

初夏を思わせる日ざしの中で、加茂山杉木立、池の端の野点二席と青海神社拜殿、貴賓席の合わせで四席で市民茶会が行われました。お天気がよかつたせいも、和服姿のお客さまが多く華やかなにぎわいの中にゆつくりとお茶を楽しむ姿がありました。

「粟ヶ岳山開き」

二十九日の午前七時三十分には、水源池第二ダムで粟ヶ岳の山開きがありました。こちらも前日から晴天という天気予報のせいも、おせいが今年の初登りを楽しまれました。



金踊会



加茂松坂協会



雪椿民踊会



加茂松坂保存会



県警音楽隊とカラーガーズ



交通安全母の会



交通安全協会管理者部会



一栄楽団



BFC 少年消防クラブ



ミス雪椿の藤田さん・栗山さん



雪椿クイーン山田さんと  
ミス大島の佳吉さん



本量寺保育園 幼年消防クラブ



自衛隊音楽隊



トレジャーハンティング



カモレンジャーのステージ



市民茶会 杉木立の茶席



雪椿マラソンのスタート



池の端での市民茶会



粟ヶ岳山開き



雪椿杯バレーボール大会



新潟ひかりクラブが連覇

# 功労と功績をたたえ 春の叙勲

春の叙勲で加茂市から二人の方が受章の榮譽に輝きました。お二人の足跡、功績などを紹介します。

## 旭日小綬章

(地方自治功労)



平成7年3月市議会

安中 久さん  
(小乙・71歳)

を務めました。その間、平成十一年五月からの二年余りは市議会副議長を務めたほか、社会経済常任委員長、地域振興特別委員長、議会議出監査委員などの要職を歴任し、また議会推薦農業委員は通算十三年余も務めました。

特筆すべきは、初当選から病に倒れる平成十四年までの定例市議会九十二回中、八十五回にわたり一般質問に立ち、なかでも昭和五十八年から一回休んだだけで約二十年の間、一般質問はほぼ皆勤を続けました。それも大体一番手に演壇に立つて、まさに市議会の論客として読書家らしく故事や格言などを引用しながら「安中節」ともいえる独特の語り口を毎回披露してきました。

昨年末から、全国的にも注目されたスクールバス導入の先駆けとなったのは、実は七谷地区の遠距離通学の児童・生徒の安全対策のためバス配備を働きかけたことが出発点となりました。

今回の受章に際しては「何で自分みたいな者がもらえるのだろうか」と不思議がり、「みんなに支えられてきたおかげ」と、感謝の言葉です。

## 瑞宝小綬章

(郵政行政事務功労)



川崎 茂雄さん  
(寿町・74歳)

川崎さんは、元信越郵政監察局新潟郵政監察室長を務め、平成三年に退職するまで四十一年余りの郵政人生でした。あまりなじみのない郵政監察官という仕事は、郵政業務全般の調査に当たるほか、郵政業務に対する犯罪について刑事訴訟法に規定する司法警察員の職務ができます。

「郵政犯罪捜査、事故調査、業務考査などで事業の品質管理を図る組織に席を置いた者の代表として大変ありがたく、個人的にも感慨深いところ」と受章の喜びを語り、「管理者集団の監察部門では仕事の面まで内助の功に負うところがあり、苦労

させたので受章には妻も大変喜んでい」と夫人に感謝します。

小千谷市桜町に生まれ、小千谷郵便局の為替貯金窓口係からスタート、東京本郷郵便局の保険内務係を務めながら法政大学法学部に通い、その後また小千谷郵便局に転勤しましたが、勤続四十一年余の前半は郵便局、後半はほぼ監察局でした。

「郵便・貯金・保険と三事業一体で運営される郵便局のほか、監察部門で思う存分仕事ができ、数多くの表彰も受けた。そして、良き上司・先輩などに恵まれ、まぶたに浮かぶ人々との貴重な出会いがあつて今日を迎えることができた」と振り返ります。

若いころは「真実と情熱」、その後は「人を知るは智、己を知るは明なり」をモットーとしていましたが、省みて「行くに小径に由らなかつた」との感慨があるとのこと。

退職後は、精力的に生涯学習や山登り・ウォーキングなどをやっていた、弥彦山は五百回を目標に三百五十回登り、新潟島一周ウォーク、八十里越などウォーキングをやっているのに、ときどき見る夢は「郵便局や監察局で苦労している場面が多い」と笑います。

「何しろ新米でございまして、先輩議員、同僚議員のご指導をいただきながら四年間、務めさせていただきたいと思えます」と、昭和五十四年六月定例会の加茂市議会議録にありま。これが安中さんが四十四歳にして初登壇した一般質問の第一声です。この後、当時の皆川市長に、政治姿勢や得意の農政問題を舌鋒鋭く問いただしています。

安中さんは、昭和五十四年五月から平成十五年四月まで、実に六期二十四年の長きにわたり、市議会議員



# 2006 加茂桐たんす見本市



三回目になる「加茂桐たんす」見本市が産業センターで五月十七・十八日に開催されました。

今年、「桐からKIRIへ」をテーマにデザインコンペも同時に行われ、現代の住空間を見据えた意欲的な作品が出品されました。審査委員長に長岡造形大学学長の鎌田豊成さんをはじめ、審査は同大学教授・松丸武さん、新潟県工業技術総合研究所県央技術支援センター長・久保田順一さん、財団法人にいがた産業創造機構（NICCO）経営支援グループものづくりチームⅡスタッフ・芳賀修一さん、新潟日報社三条支局長・橋本伸さんのほか、加茂商工会議所会頭・阿部大爾さんと小池清彦加茂市長が務め、二十一点から四作品

に各賞が贈られました。

見本市には、伝統的工芸品としての桐箆箆から、昨年から行われている海外での見本市で好評を得た製品が展示されました。来場者からは「桐たんすのイメージと違って、リビングにも置ける家具として考えたい」という声が寄せられていました。



新潟県知事賞



加茂市長賞



加茂商工会議所会頭賞



審査委員特別賞

## 加茂市史編さんの 委員紹介③

現在、編さんされている「加茂市史」には、市内外のおおぜいの方からご協力いただき、刊行に向けて作業が続けられています。

### 近現代部会



瀨古龍雄さん  
産業考古学会評議員、  
元鉄道史学会理事

元加茂市民六年の経験を踏まえ、加茂地域の農園芸・交通通信の分野で努力をしていきたい。

### 近現代部会



前田 穰さん  
元高等学校教員

市外からの参加者として、地元の事情に疎いところがないよう努力したい。主として戦後の経済や社会情勢の特徴を捉えたいと思う。

### 近現代部会



大塚 哲さん  
元中学校教員

戦争や恐慌などの変転した世相の中でも、たくましく郷土を築いてきた人々の姿を捉えたい。

### 近現代部会



中山之隆さん  
県立新津高校教諭

先人の苦労を探り、それを若い人に少しでも伝えるお手伝いがしたい。若い人に読んでもらえる市史が理想です。

### 民俗部会



藤 義信さん  
部会長、新潟県民俗学会員

戦前の民衆の社会生活の移り変わりを後世に伝えるべく、風俗・習慣等を掘り起こしてみたいと思います。



## 歯周病の原因

歯のすき間に細菌が巣をつくり、炎症をひきおこします

よくみがいたつもりでも、歯間部はみがき残しが多く、大部分に歯垢(プラーク)が残っています。歯周病の主な原因は、そのみがき残した歯垢です。

歯垢には何種類もの細菌が集まり、糖分からネバネバした物質をつくり、バイオフィルムと呼ばれる細菌の巣のようなものを形成しています。一グラムの歯垢は、なんと一十億もの細菌の塊なのです。歯垢と、歯垢が石灰化してできる歯石は、歯肉の炎症をひきおこし、徐々に歯周ポケットを広げ、歯槽骨まで壊してしまいます。

(加茂市歯科医師会)

## 歯周病をまねきやすい生活習慣

### ●たばこを吸う

たばこは歯肉の血行を悪くし、歯周病のリスクを高めます。



### ●疲労やストレスをためている

疲労や睡眠不足が続くと免疫力が低下し、症状を悪化させます。



### ●よく噛まずに食べる

よく噛んで食べると唾液が十分に分泌され、口の中の汚れを洗い流し、細菌の繁殖しにくい環境に保ちます。

### ●間食が多い

口の中に長くとどめるキャンディー、キャラメルなどは歯垢を増やすもです。歯みがきの後は甘いものは控えたもの。



# 第27回 雪椿マラソン

期日 四月十六日

午後二時三十分・駅前スタート

出場選手 百九十名

〔3 kmコース 駅前〜駒岡橋〜陸上競技場〕▼小学三・四年男子①梅田聖史郎(七谷小)②藤田寛人(加茂南小)③有本隆寛(下条小)▼同女子①涌井華奈(五泉少年マラソンクラブ)②小野麗奈(石川小)③坂田恵(下条小)▼小学五・六年男子①高橋隼登(石川小・最優秀選手賞)②真柄幸季(下条小)③藤田友陽(同)▼同女子①立川千華(五泉少年マラソンクラブ)②佐藤夕夏(五泉・村松東小)③佐藤京香(下条小)▼中学女子①大野仁子(新潟・小須戸中)



最優秀選手賞)②高山琴海(同)③北村真衣(五泉少年マラソンクラブ)

▼一般・高校女子①波塚美奈子(下条小教)②佐久間真奈美(五泉市)③高橋美紀(富永草野病院)

〔5 kmコース 駅前〜小貫橋〜陸上

競技場〕▼中学男子①大越護(新潟・亀田中)②吉田風(三条・栄中)③富田秋平(新潟・白南中)▼一般・高校男子2部①本間国仁(加茂暁星高)②佐藤美教(三条市消防本部)

③坂本浩徳(新潟大)▼壮年(40歳以上)①田代修(赤谷)②池田豊一(理研電線株)③丸山均(新潟市戸頭)

〔10 kmコース 駅前〜七谷大橋〜陸上競技場〕▼一般・高校男子1部①竹石実(見附陸協)②船久保徹(加茂地域消防署)③近藤貴広(JAな

んかん)

## 第22回雪椿杯争奪

### 加茂市近郷家庭婦人

### バレーボール大会

期日 四月二十三日

会場 勤労者体育センター

参加数 中・下越から十六チーム

〔結果〕①新潟ひかりクラブ(新潟市)②つかさクラブ(加茂市)

③見附ママ(見附市)、豊浦クラブ

## ブ(新発田市)

### 〔個人賞〕

最優秀賞 得丸百合(新潟ひかりク)

優秀賞 吉田百合子(つかさク)

敢闘賞 草間園子(見附ママ)、木滑あゆみ(豊浦ク)

技能賞 大谷ルミ(新潟ひかりク)、戸塚律子(つかさク)



## 第58回 加茂市少年野球大会

期日 四月二十九日

会場 七谷・川西野球場

### 〔結果〕

優勝 葵中学校

準優勝 七谷中学校

## 第25回 全日本学童野球

### 中越大会予選会

期日 四月二十九日、五月三日

会場 七谷野球場

### 〔結果〕

優勝 下条ファイターズ

(長岡市での中越大会に出場)

準優勝 田上ブラックベアーズ



昭和11年5月

ぬのさらしてらん

# 明治天皇布晒天覧の碑の除幕式開く

市道三条屋線の加茂川に架かる大

橋は、江戸時代の地図にも載るほど古い。加茂川改修により新しくなった現在の橋は、昭和五十七年（一九八三）十一月の完成だが、旭橋や昭和橋より幅も狭く親柱も地味にできている。この橋の左岸に「明治天皇布晒天覧聖蹟碑」が建つ。

碑は、高さ約二・四m、幅四十cm、厚さ約三十cmの石柱で、台座を入れると約四mと見上げるようだ。表面は「伯爵金子堅太郎書」碑陰には「坪谷善四郎撰、加藤貞次郎書」とある。

明治十一年（一八七八）九月二十

## 加茂の風土記

一日、北陸御巡幸中の明治天皇御一行が上条の大橋を馬車でお通りの際に、地元特産の織物の宣伝に加茂川での布晒の作業を御覧に入れた。少年時代の坪谷善四郎もこの実演に参加している。ここがそ

の現場である。

今から七十年前、昭和十一年（一九三六）五月十二日に加茂町主催の除幕式が大橋畔の現場で行われた（以下、市役所所蔵の「庶務重要書類」による）。

除幕式は午前十時四十分開式、青海神社・古川宮司の祈事。祝辞は二人で、県の常松・社寺兵事課長が関屋延之助・知事の代読、東京から参列の坪谷善四郎が続く。主唱者の関真次郎と夫人が除幕に参加する。長



約1.5mの台座の上に建てられた「明治天皇布晒天覧聖蹟碑」

岡の石工、仕事師・湯川屋の名前も見える。町内の官公署、学校長、町議、地元代表者。主催者側は丘山町長、古川・石附の両助役、市川収入役など。総計六十七人が出席した。式後、祝宴を午後五時から料亭万屋で開くが、参加者の会費が一円八十銭とある。

丘山町長は、式辞の中で碑の建立経過について「関真次郎君聖蹟保存ノ拳ヲ称へ坪谷善四郎君永井栄松君等協力シテ建碑ヲ完成シ、加茂町ニ寄附スルニ至リ町ハ其ノ篤志ヲ町会ニ諮リ」と、織物業の関真次郎の主導のもと坪谷善四郎と地元材木商・永井栄松両名の協力により碑の完成をみたと述べた。

さらに、御巡幸から五十年を経て加茂町は「今や産業都市トシテ人口二万三千、町勢イヨイヨ伸展ノ域ニアリ、然リトモ更ニ益々之ニ留意シ深厚ナル大御心ノ尊嚴ヲ町民永遠ニ伝ヘ以テ聖旨ニ奉答スベキ所ナリ」「記念スベキ聖蹟建碑ノ式典ヲ挙ケ町永遠ノ社会教育並ニ産業振興ノ為ニ無窮ノ碑トシテ嚇々タランコトヲ希ヒ以テ式辞トス」と、加茂町産業の発展と社会教育振興のシンボルとなることを希望すると結んでいる。

（長谷川昭一）

ふじがとつ

社会福祉費寄付金

▼国際ソロプチミスト新潟から 十万円

社会福祉事業費として

▼国際ソロプチミスト新潟西から 三十万円

▼加茂地区メーデー実行委員会から 一万二千六百二十七円

加茂市へ

▼チェリークラブから 木製長いす三脚

▼あゆみ婦人会から 座布団四十枚

訂正とおわび

広報かも4月号（No.598）11ページの「子宮がん検診」の実施医療機関で誤って外科医院の掲載がありました。訂正しておわびします。

### 人口のうごき

5月1日現在	
世帯	9,978 (+27)
人口	32,216 (-9)
男	15,583 (+7)
女	16,633 (-16)
( )内は前月比	
(4月異動分)	
出生	20 (男11 女9)
死亡	21 (男9 女12)
転出	110
転入	102